

「第8回年次カンファレンス」



1. 開催日時 : 平成26年2月22日(土)
2. 開催場所 : パシフィコ横浜会議センター1階
3. プログラム : *以下のとおり
4. 参加人数 : 約900名

プログラム

特別講演 (9:30~12:00)

座長 独立行政法人国立病院機構 理事 上池 渉

1. “申し送りは命の申し送り”

- 50有余年の臨床経験から、医療従事者へ伝えておきたい医療安全上のいくつかの基本行動

函館新都市病院 病院長／金沢医科大学 名誉教授 青野 允

2. 診療・看護ガイドラインと過失（注意義務違反）の関係 - 近年の裁判例の分析から

神戸大学大学院法学研究科 教授 丸山 英二

3. 死因診断までが医療 - 診療・看護関連事故の解剖を通して

九州大学大学院医学研究院教授／日本法医学会 理事長 池田 典昭

会員報告 (12:40~13:40)

座長 松波総合病院 部長 川口 雅裕 / NTT東日本関東病院 医療安全管理者 栗原 博之

1. IS015189認定臨床検査科から発信する医療安全管理－医療安全文化の構築をめざして (嶋崎明美他)

2. ルール忘却の予防行動への動機づけを意図した安全講習会の試行 (甲斐由紀子他)

3. 採血による有害事象とインフォームド・コンセント－全国調査からわかる日本の現状 (金川里香他)

4. 院内発症における静脈血栓塞栓症（VTE）の検討 (浅井知子他)

5. 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業における疑義照会事例の分析 (飯島久子)

シンポジウム (13:50~15:30)

座長 千葉市青葉看護専門学校 学校長／千葉市立青葉病院 前病院長 高橋 長裕

D N R 指示と臨床倫理

1. D N R 指示に関する倫理的・法的問題の所在-患者に判断能力がある場合でも、
家族から同意を得ることはないか? など

京都大学大学院文学研究科 准教授 児玉 聡

2. D N R 指示に関する取り組みの実際 - 若き医療従事者への教育の重要性

静岡県立静岡がんセンター 食道外科 部長 坪佐 恭宏

3. 患者・家族とのコミュニケーションの重要性

- 「最期を見届けたかった」、「心臓マッサージぐらいはしてほしかった」

武蔵野赤十字病院 前副院長 日下 隼人

教育講演 (15:40~16:20)

座長 東北大学病院 特命教授 藤盛 啓成

1. 臨床倫理問題と倫理コンサルテーション

- 患者・医療者間や、医療者間に意見の対立がある場合、どのように対応すべきか -

慶應義塾大学大学院 准教授 前田 正一